

## 夏休みは図書館へ

### ◆本館の開館時間が早くなります

7/21日(土)～8/28日(火)  
午前9時30分 から開館 (通常は10時)

### ◆「ふた付きの飲み物」の持ち込み可能

水分をとって熱中症を予防しましょう。  
本に水滴がかからないよう、気をつけてお飲みください。

### ◆本館3階に休憩コーナーあります

弁当などを食べることができる、飲食可能なスペースです。ゴミは持ち帰ってください。席を譲り合ってください。

### 親子で かにっ子タイムに来ませんか

本館および帷子分館、桜ヶ丘分館にて  
毎週土曜日 午後2時から 申込み不要・参加無料。  
絵本の読み聞かせや紙芝居をします。暑い夏の日中は、  
図書館で涼みながら本を楽しんでください。

### 本館では 夏休みお話広場 もあり

7/23(火)～25(木) 午前11時・午後2時



## 職員のおすすめ《この書き手に注目!》

### 宮本 輝

(みやもと てる 1947年兵庫県生まれ)

1977年『泥の河』(新潮社)で太宰治賞を、翌年『蛍川』(筑摩書房)で芥川賞を受賞。『約束の冬』(文芸春秋)で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2010年紫綬褒章受章。戦後の時代相を背景に父と子を描く『流転の海』(新潮社)が2018年に完結。

多くの著作がある作家ですが、最初の連載から37年間にわたって書き続けてきた『流転の海』シリーズ(新潮社)が第9部『野の春』で完結となりました。この作品は自らの父をモデルにした松阪熊吾の波乱の人生を描いた自伝的大河小説です。

昭和42年、熊吾が50歳で授かった息子・伸仁は20歳の誕生日を迎えます。「この子が20歳になるまで死なん。」と誓った熊吾はその日を家族で祝いますが…。

著者はあとがきで、「最後の数行を書く時、私は心臓をドキドキさせ、手にたくさん汗をかき、指は震えた。そういう予想はしていたけどいつもより心穏やかに書き終えた瞬間一人でガッツポーズをして『やった。』と小声で言った。そして37年もかけて何を書きたかったかと問われたら、『一人一人の無名の人間のなかの壮大な生老病死の劇』と答えるしかない。」と語っています。作家の魂を込めたそれこそ壮大な世界に入ってみてはいかがでしょうか。

(本館 饒村)

### 志村 ふくみ

(しむら ふくみ 1924年滋賀県生まれ)

染織作家。紬織の重要無形文化財保持者で人間国宝。随筆家でもあり、『一色一生』(求竜堂)で大佛次郎賞、『語りかける花』(人文書院)でエッセイスト・クラブ賞を受賞。他に『伝書～しむらのいろ』、『母なる色』、『織と文』(いずれも求竜堂)など。

志村さんは、故・石牟礼道子さんとの親交も深く、石牟礼さん原作の新作能「沖宮」の装束を制作し、昨年は名都美術館で作品展も開催されたので、作品をご覧になり、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今回は、志村さんが随筆家としても才能を開花させた作品をご紹介します。

『一色一生』ではシングルマザーとなってから染色家を志し、自立するまでの道のりが主に語られています。工芸家としての生き方を貫く姿に勇気が出る一冊です。『語りかける花』では、日々の暮らしで感じた事、縁ある人々との思い出などを、豊かな感性と美しい言葉で、絵画を描くように綴っています。日本人が培ってきた美意識、命を愛しみ自然に寄り添う姿勢…。忘れてはいけない大切な事を気付かせてくれる作品です。草木の命から紡がれる豊麗な色、日本語の繊細さにふれてみてください。

(桜ヶ丘分館 福井)

## あたらしくいった本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.64/ク/	<b>いちばんやさしいプログラミングおうちでスタート BOOK</b> 知識ゼロでも大丈夫! パズルのようにブロックを組み合わせるだけでプログラムが体験できるツール「ビジュアル・プログラミング」を使った、親子で学べるプログラミングの本。	熊谷基継/著	すばる舎
019.5/カ/	<b>かがくのとものもと</b> 創刊 50 周年を迎えた月刊の科学絵本「かがくのとも」。増刊号を含め 601 作品すべての表紙とあらすじ、50 年の工夫の数々、1 冊の「かがくのとも」ができていく過程、第一人者たちの語る科学絵本観、幻の付録などを収録。		福音館書店
心理・宗教			
141.7/ナ/	<b>FBI 捜査官が教える「しぐさ」の実践解説辞典 407</b> 髪をいじる、視線を下げる、両腕を背後で組む…。体の各部分ごとのあらゆる「しぐさ」と心理的な意味を、すぐに調べられるクイックリファレンス形式で紹介。「FBI 捜査官が教える「しぐさ」の心理学」の実用編。	ジョー・ナヴァロ/著	河出書房新社
184/ヤ/	<b>「身軽」の哲学</b> 人はなぜ、後半生になると重荷を下ろしたくなるのか。人生の折り返し点を過ぎ、歌や句にますます傾倒して軽やかな自由の世界に遊んだ西行、親鸞、芭蕉、良寛から、「解放」の生き方を学ぶ。	山折哲雄/著	新潮社
歴史・地理			
210.0/ニ/	<b>日本史の表舞台から消えた「その後」の顛末大全</b> 「本能寺の変」の後の明智光秀、赤穂事件後の浅野家・大石家・吉良家の顛末、「おくのほそ道」完成後の松尾芭蕉…。日本史の表舞台に登場し、輝かしい足跡を遺して消えていった人たちの「その後」を紹介する。	歴史の謎研究会/編	青春出版社
289.1/ア/	<b>明智光秀</b> 明智光秀の実像に迫る論考集。光秀の源流、丹波平定、政策・文化、本能寺の変などについて論じた 12 本の論考と、これまでの先行研究の成果を踏まえたうえで編者の知見をまとめた総論を収録。	柴裕之/編著	戎光祥出版
291.0/ヤ/	<b>さあ、バリアフリー温泉旅行に出かけよう!</b> 温泉エッセイストが、車いすでも身体が不自由でも楽しめる、温泉旅行を案内。必需品や温泉宿選びのポイント、入浴時の注意などの情報を伝える。おすすめ温泉宿 20 選リスト付き。	山崎まゆみ/著	河出書房新社
社会			
309/ト/	<b>みんなの「わがまま」入門</b> 多様な人が時間と空間を共有する時代、自分の権利を主張するのは自己中? わがまま? 意見を言うことへの「抵抗感」をときほぐし、どうやって意見を言い「わがまま」を伝えればいいのかを講義形式で解説する。	富永京子/著	左右社
366.8/ナ/	<b>移民解禁</b> 「移民解禁」とは、日本が抱える人口減少という「重病」に対して、対症療法ではない根本治療が可能な、唯一の方策。実質的な移民をビジネス分野で生かすノウハウを論じる。	永井隆/著	毎日新聞出版
369.3/シ/	<b>シニアのための防災手帖</b> 足腰が弱く、体力にも不安を抱えるシニア層が安全に避難し、命を守るためには日頃の備えが必要。「災害関連死」や「災害直接死にも繋がる避難行動」などから、シニアの命を守るために必要な 50 のポイントをまとめる。	三平洵/監修	産業編集センター
自然科学			
489.9/ヤ/	<b>ゴリラの森、言葉の海</b> 物語の森を知る作家・小川洋子とゴリラの眼を持つ霊長類学者・山極寿一が、京都で、屋久島で語り尽くす。ゴリラを通して現代に生きるヒトの姿が鮮やかに浮かび上がる、知のフィールドワーク。	山極寿一/著	新潮社
491.3/サ/	<b>科学の女性差別とたたかう</b> 「女脳」は論理的ではなく感情的」など、科学の世界においても、女性に対する偏見は歴史的に根強く存在してきた。19 世紀から現代までの科学史や最新の研究成果を徹底検証し、まったく新しい女性像を明らかにする。	アンジェラ・サイニー/著	作品社

498.4/コ/	<b>マイクロカプセル香害</b>	古庄弘枝／著	ジャパンマニスト社
	香害は公害か？ 残香を強くするためのマイクロカプセルと、それに使われている毒性化合物イソシアネートなどについて解説。香りの被害にあった人、化学物質で健康を害した人の声も掲載する。		
技術・家政			
537.0/カ/	<b>カリスマ失墜</b>	日経ビジネス／編	日経 BP
	いかにして絶対権力を握ったのか。なぜ転落したのか。経営手腕は本物だったのか。クーデターだったのか。1999 年から現在に至るまでの『日経ビジネス』掲載記事から、カルロス・ゴーンと日仏連合の実像に迫る。		
576.5/ミ/	<b>ほんものみたいなジュエルソープ</b>	みなみざわななえ／著	日本文芸社
	ガーネット、サファイア、ルビー、アクアマリン…。宝石のように美しいせっけん「ジュエルソープ」の作り方を紹介。大人といっしょに子どももチャレンジできるよう、プロセス写真を用いて解説します。		
産業			
615.6/ニ/	<b>草取りにワザあり!</b>	西尾剛／著	誠文堂新光社
	雑草には、食べられるものもあれば、花が美しいものもあり、人間が栽培している植物と縁が近いものもある。楽しく草取りをするために、雑草と呼ばれる植物のことや、それぞれの場所に合った草取りの方法などを紹介する。		
芸術・音楽・芸能			
766.1/キ/	<b>ドナルド・キーンのアラビヤの夜</b>	ドナルド・キーン／著	文藝春秋
	光源氏とドン・ジョヴァンニを比較したら？ 好きな歌手は？ 日本文学研究者で、熱狂的なオペラファンのドナルド・キーンによるオペラ解説の集大成。鑑賞したオペラ公演のリスト、近藤憲一の寄稿も収録。		
775.1/イ/	<b>市原悦子ことばの宝物</b>	市原悦子／著	主婦の友社
	遠回りというのも悪くないの。ゆっくりゆっくり。女優・市原悦子が遺した、味わい深いことばの数々を収録。月刊誌『ゆうゆう』取材時に着用していた洋服と和服も紹介する。		
日本文学—小説			
913.6/アサ/	<b>鬼を待つ</b>	あさのあつこ／著	光文社
	心に虚空を抱える同心・木暮信次郎と、深い闇を抱える商人・遠野屋清之介。亡き女房に瓜二つの女、禍々しい死。欲に呑み込まれていく、商と政…。男たちはどう決着をつけるのか。		
913.6/アマ/	<b>もののふの国</b>	天野純希／著	中央公論新社
	源頼朝、明智光秀、土方歳三…。命を懸けた果てなき争いの先に待ち受けていた光景とは？ 千年近くに亘る、血塗られた戦いの系譜を描く。競作企画「螺旋プロジェクト」の中世・近世編。		
913.6/カワ/	<b>百花</b>	川村元気／著	文藝春秋
	認知症と診断され、徐々に息子を忘れていく母と、母との思い出を蘇らせていく息子。ふたりには忘れることのできない“事件”があった。現代に新たな光を投げかける、愛と記憶の物語。		
913.6/ササ/	<b>織田一の男、丹羽長秀</b>	佐々木功／著	光文社
	信長の友にして、誰よりも織田家に尽くした仁将、丹羽長秀。その右筆・太田牛一は、長秀の記を秘かに残そうとする。本能寺の変で長秀は、ある秘策を立てていた…。「信長公記」を編纂した右筆の視点で描く歴史絵巻。		
913.6/シバ/	<b>待ち遠しい</b>	柴崎友香／著	毎日新聞出版
	住み心地のいい離れの一軒家で一人暮らしを続ける 39 歳の春子。母屋に越してきた 63 歳のゆかりと、裏手の家に暮らす新婚 25 歳の沙希と出会い、「ご近所付き合い」が始まるが…。		
913.6/ツキ/	<b>悪の五輪</b>	月村了衛／著	講談社
	アジア初の五輪開催を翌年に控えた東京。ヤクザの人見は、五輪公式記録映画の監督に中堅クラスの錦田をねじ込むことで、興行界をのし上がろうとするが…。		
913.6/ナカ/	<b>夢見る帝国図書館</b>	中島京子／著	文藝春秋
	友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追い…。本を愛した人々の物語。		

913.6/ナカ/	<b>笑え、シャイロック</b>	中山七里／著	KADOKAWA
	帝都第一銀行に入行した結城の上司は、伝説の債権回収マンとして悪名高い山賀だった。彼の背中を見ながら、回収不可能とされた案件に着手する結城。そんなある日、山賀が刺殺体で見つかり…。		
913.6/ニタ/	<b>育休刑事(デカ)</b>	似鳥鶏／著	幻冬舎
	殺人現場に赤ちゃん臨場!? 県警捜査一課・秋月春風巡査部長は、生後3ヶ月になる息子・蓮くんのため、男性刑事としては初の“育休”に挑戦中。それでも事件は待ってくれなくて…。		
913.6/ハム/	<b>暁天の星</b>	葉室麟／著	PHP 研究所
	たとえ批判にさらされようとも、外交官・陸奥宗光は上を向いて歩き続けた。著者が最期に、そして初めて近代に挑んだ未完の大作。『文蔵』連載を一部修正。		
913.6/ハラ/	<b>美しき愚かものたちのタブロー</b>	原田マハ／著	文藝春秋
	モネ、ルノワール、ゴッホ…。日本の若者に本物を見せたい。その一心で絵画を買い漁った男がいた。アートに魅せられ、不可能を可能にした4人の男たちと、国立西洋美術館の礎“松方コレクション”の軌跡を描く。		
913.6/ヒサ/	<b>限界病院</b>	久間十義／著	新潮社
	過疎地域にあるバトラー病院は深刻な財政危機を抱えていた。新任院長は大胆な改革案を打ち出そうとするが…。危機に瀕する地方病院を舞台にさまざまな思惑が蠢く医療長編。		
913.6/モロ/	<b>旅は道づれきりきり舞い</b>	諸田玲子／著	光文社
	ひょんなことから十返舎一九とその娘、舞は、一家総出で江戸から駿府へ。これぞ本家本元「東海道中膝栗毛」。戯作者・十返舎一九の一家を中心に、関わりあう奇人変人たちが巻き起こす大騒動を描く。		
913.6/ヤマ/	<b>つみびと</b>	山田詠美／著	中央公論新社
	灼熱の夏、彼女はなぜ幼な子2人を置き去りにしたのか? 追い詰められた母親、死に行く子どもたち…。痛ましい事件の深層に分け入る、迫真の長編小説。		

## 本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 7 / 3 (水) ~ 8 / 1 (木) ■

### 夏休み特集 民話・昔話 よみくらべ絵本展

民話や昔話は、誰もが一度は耳にしたことがあるお話でも、絵本によって内容が違うことがあります。

当館で所蔵する、同タイトルの民話・昔話の絵本を集めてご紹介いたします。文章や絵の違いを読み比べてみると、楽しいです。



## 貸出カードの登録内容を確認します

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。

登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。

有効期限が切れても、貸出・予約等はできますが、ホームページ上での貸出更新ができません。また、期限から3年を経過すると、カードは除籍になりますのでご注意ください。

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、  
土日祝 10:00~17:00  
※7月21日~8月28日は9:30開館  
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日  
7月 1,8,15,22,26,29日  
※桜ヶ丘分館臨時休館  
7月21日(日) 選挙のため  
27日(土) 桜ヶ丘ハイツ夏まつりのため

スマート  
フォン用  
サイト



「図書館だより」2019年7月号

発行：可児市立図書館 電話(0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。